

# 天白公園の 大空を優雅に フライト

風が穏やかな平日の午前。天白公園の空に、紙飛行機がゆっくりと飛んでいます。紙飛行機と聞くと折り紙で作られたものを想像しますが、ここで飛んでいるのは紙を貼り合わせて作った本格的なもの。上昇気流に乗れば大空を60秒以上舞うこともあります。

## 健康維持のため始めた公園の散歩をきっかけに

紙飛行機を飛ばしているのは「てんぱくくんの会」の皆さん。「会」と名が付きませんが特に規約は設けず、自由に参加して紙飛行機を飛ばしています」とメンバーの大橋

敏雄さんは話します。紙飛行機との出会いは●年前。健康維持のため近所にある天白公園に散歩に出かけたところ、紙飛行機を飛ばす工藤精治さんと知り合いました。「面白そうですね」と声をかけると、2人は意気投合。作り方を習い、一緒に飛ばすうちに仲間の輪



1.「てんぱくくんの」設計図はウェブサイトダウンロードできます 2・3.「てんぱくくんの」のほか、さまざまな飛行機を作成しています 4.第14回 ジャパンカップ 全日本選手権紙飛行機選手権大会 滞空競技 規定機種Ⅱ Aクラスの優勝トロフィー

が広がりました。定年を迎えさらに情熱が高まった大橋さん。再利用したハガキをホッチキスで貼り合せた紙飛行機を使っていました。飛行時間がより長いものを作ろうと決意します。ハガキサイズの紙飛行機をCADで設計して生まれたのが「てんぱくくん」です。各地に愛好家を持つ紙飛行機。それぞれが手がけた作品はネット上で無料公開されており、ダウンロードして紙に印刷すれば誰でも作ることができます。また翼の形、長さの数値を入力すると飛行時間の予測ができる制作ソフトは、主翼が後ろにあるカナード型などオリジナルの紙飛行機を制作可能。好みのデザインが決まったら、図面を出力し組み立ていきます。ケント紙などが適しており、胴体に木を入れて強度を上げることも可能。糊付けしたら1日かけて乾燥



清空する紙飛行機。上昇気流に乗れば60秒以上飛ぶことも

## 2007年の全国大会で見事にクラス優勝を達成!

てんぱくくんの会と別に、「紙飛行機の会愛知」にも所属している大橋さん。2007年秋に行われた「第14回ジャパンカップ全日本選手権紙飛行機選手権大会滞空競技規定機種Ⅱ Aクラス」では全国優勝を果たしました。

「全国大会は福岡で行われました。前日はかなりの強風でしたが大会当日は天気も温かく、ほぼ無風。地表が温められて上昇気流が発生しました。」

大会では、紙飛行機を5回飛ばして飛行時間の合計タイムで競います。平均飛行時間は30〜40秒ですが、上昇気流に乗れば60秒以上飛ぶことも。しかし上昇気流は目に見えず、見極めが難しいと話します。「その場所で何度も飛



てんぱくくんの会 大橋敏雄さん

## 自分で設計して作ったら天白公園で初フライト

「てんぱくくんの会」は、誰でも自由に参加可能。「大会に出たい人がいれば、私も所属している『紙飛行機愛知の会』で腕を磨いてもらうこともできますが、「てんぱくくんの会」は天白公園に来て声をかけてもらえれば誰でも紙飛行機を飛ばせます。子どもが多い週末や平日午後は危険防止のため飛ばさ

ないほか、万が一に備え紙飛行機の先端に衝撃を吸収するスポンジの着用を義務付けるなど安全面に配慮して飛ばしています。

「紙飛行機は作る時に手先を使うので、脳の活性化に効果的。紙飛行機は200mほど先まで飛ぶこともあるので、拾って飛ばすことを何度も繰り返し返せばかなりの距離を歩きます。健康維持にもピッタリでお金もそんなにかからないので趣味として最適です」と大橋さん。会の活動は午前中だけですが、1日あたり1万歩はゆうに歩くそうです。

「てんぱくくんの会」では作り方や飛ばし方なども気軽にレクチャーしてくれれます。「天白公園内芝生広場周辺で飛ばしているの、興味を持ったなら気軽に声をかけてください」と笑顔で話しました。

INFORMATION  
てんぱくくんの会  
活動場所/天白公園内 芝生広場周辺  
活動日/平日午前中  
www.geocities.jp/to2ohashi